

都市域の緑地環境の保全に関する研究 (V)

— 保存樹の樹種による周辺住民の評価の違い —

九州大学農学部 薛 孝夫
西日本短大造園学科 若林 春美・吉永浩一郎
新開 友則・森上 満

1. はじめに

福岡市において、保存樹に対して住民が感じている迷惑感や快適感を確かめるために、個人の住居敷地内にある保存樹の所有者と、その周辺住民の意識について調査している。今回2本の保存樹を対象に調査を追加したのでその結果を報告する。

2. 調査方法

調査した保存樹は、福岡市城南区干隈にあるクスノキと同市南区三宅にあるエノキである。調査は前報¹⁾と同様、保存樹の現況調査、所有者と周辺住民へのアンケート調査と聞き取り調査からなる。

所有者へのアンケート調査は、所有する保存樹についての意識や管理内容、周辺住民の協力や苦情などに

ついて質問するものである。

周辺住民への調査は、①当該保存樹との関わり、②保存樹に対する評価などについて質問するもので、保存樹から半径200m以内から無作為に選んだ住居100戸に調査票を配布し、料金不要で返送を依頼した。これらの質問は緑地全般についてのアンケート調査の一部とし、当該保存樹を知らないことが返信をためらう原因とならないようにした。回収数はクスノキ45、エノキ46であった。

3. 調査木および周辺の概況

クスノキ(指定番号8)は、地上1.5mの幹周4.5m、樹高約18m、枝張り約15~20mで、道路の交差点に隣接し周辺からよく目立つ。保存樹から半径100m以内の建築物の総数は72で、内訳は一戸建て住宅65、アパート・マンション4、商店3である。



図-1 クスノキ保存樹(指定番号8)

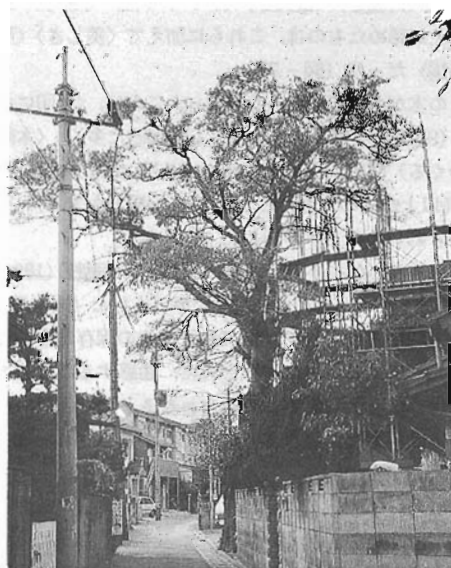


図-2 エノキ保存樹(指定番号29)

Takao SETSU(Fac. of Agric., Kyushu Univ., Fukuoka 812), Harumi WAKABAYASHI, Koichiro YOSHINAGA, Tomonori SHINKAI and Mitsuru MORIKAMI(Dept. of Landscape architecture, Nishi-nipponJun. Coll., Fukuoka 810)

Studies on the conservation of urban green areas (V) The effects of some big trees on the neighboring residents

エノキ(指定番号29)は、幹周2.9m、樹高約13m、枝張り約10~15mである。保存樹から半径100m以内の建築物の総数は61で、内訳は一戸建て住宅40、アパート・マンション14、商店4、会社寮1、教会2であり、集合住宅の割合が前者よりやや多い。

なお前報⁹⁾の保存樹の周辺環境の説明で半径200mとあるのは半径100mの誤りでしたので訂正します。

4. クスノキについての調査結果

(1) 所有者の意識

所有者は、このクスノキを地域のシンボルとして誇りにしているように思われる。剪定や枝落としを業者に依頼しており管理費が年間10~20万円となる。行政に対する要望として、実際の管理に応じた補助と、台風などの被害の後の処理を挙げている。

(2) 周辺住民と当該保存樹との関わり

回答者の全てがこの木の存在を知っており、その87%が、その木が保存樹に指定されていることを知っていた(図-1)。週に1回以上この保存樹のそばを通るといふ人は全体の84%おり、その半数は毎日この木のそばを通っている。

(3) 周辺住民の保存樹についての評価

この木を知っていると答えた人に、印象や評価をたずねた。この木の印象について最も多かったのは〈年代を感じる〉(67%)で、50%以上が認めたものはこの他に〈力強さ〉〈雄大さ〉〈シンボル性〉であり、30%以上が認めたものは、これらに加えて〈美しさ〉〈憩いの場〉だった(図-7)。

この木があつて良かったと思つたことは、〈目印になる〉(95%)が他の例と比べても圧倒的に多く、〈木陰をつくる〉(49%)〈景色を良くする〉(40%)と続き、30%以上が認めたものとして他に、〈野鳥が来る〉〈空気がきれいになる〉があつた(図-5)。

この木のために困つたこととしては、〈落葉落枝〉(18%)〈大枝落下〉(9%)の2件だけが挙げられた(図-6)。

総合的な評価として、84%がこの木の保存は必要でそのために困ることはないと答え、迷惑することもあるが保存は必要だといふのを合わせると98%となり、この木は不要だといふ答えは全くなかつた(図-9)。

5. エノキについての調査結果

(1) 所有者の意識

この所有者は自分が生れる前からあるこの木に愛着を持っている一方、落葉などで近所からの苦情もあり、また幹の空洞や枝枯れがあるため管理に頭を悩ませている。行政に対しては枯死を予防するための治療作業を要望しており、市が管理してくれば補助金は必要ないと思つている。

(2) 周辺住民と当該保存樹との関わり

木の存在そのものを知っているのは全体の83%で、この木から80m以内に住む回答者の全てがこの木を知っている。この木を知る者の97%がそれが保存樹に指定されていることを知っていた。週に1回以上そばを通るといふ人は、調査範囲内では距離に関係なく回答者の79%いた。

(3) 周辺住民の保存樹についての評価

この木の印象として多かったのは〈年代〉(58%)〈力強さ〉(53%)〈雄大さ〉(45%)で、以下〈畏敬の念〉〈シンボル性〉〈憩いの場〉(各24%)だった。この木には、〈不気味だ〉〈邪魔だ〉などマイナスの評価も出た(図-7)。

この木があつて良かったと思つたことの上位は、〈空気がきれいになる〉〈野鳥が来る〉(各29%)〈木陰になる〉(24%)で、良かったと思つたことに対する回答率は低い。(図-5)。

この木のために困つたことは、〈落葉落枝〉(26%)〈大枝の落下〉(13%)など全ての項目にわたり(図-6)、回答者の30%がこの木のために困つたことがあつた例を挙げている。

総合的な評価として、この木の保存は必要でそのために困ることはないと答えたのは53%で、迷惑することもあるが保存は必要だといふのを合わせると87%となった。また、この木は無い方がよいといふ答えが8%あつた(図-9)。

6. 考 察

今回は似通つた環境での常緑樹と落葉樹とを調査したが、いずれも周辺住民の生活と関わり深い保存樹であると思われる。両者を比べると、保存樹があつて良かったと思つたことへの回答者1人当たりの件数は、クスノキがエノキの2.0倍と多く、保存樹のために困つたと思つた件数は逆にエノキがクスノキの2.1倍となつて、クスノキの方が評価は高い。

エノキなどの落葉樹の孤立木は、夏は緑陰として、また冬は日照を阻害しない木として好まれるのではないかという予測に反し、エノキで日照阻害が指摘されクスノキでは挙げられなかつた。また、暗い感じがする、邪魔な存在だといふマイナスの評価が落葉樹のエノキの方に出たのも意外であつた。近接する住宅では落葉樹でも日照阻害があること、枝透かしなど適切な管理がなされれば常緑の大木でもこの類の被害を少なくすることができるのがうかがえる。

表-1は、保存樹の存在を知っていると答えた人を木からの距離順で5人ずつに区切って、保存樹があつて良かったことを挙げた件数を示し、表-2は同様に、保存樹のために困つたことを挙げた件数を示している。保

存樹があって良かったという評価は、クスノキで60～110mに、またエノキでは60～80mに小さなピークがある。困ったことがあったという指摘は、全体で見ると保存樹に近い所ほど大きく、これは前回の調査で見られた傾向と同様である。

図-8に前回調査したクロマツとクロガネモチの調査結果と合わせて、回答者1人当りの、保存樹があって良かったことの件数と、保存樹のために困ったことの件数とを総数で示した。また、図-9に保存樹に対する住民の総合評価を問う項目における結果を前回調査分と合わせて示した。

良かったこと、困ったことにかかわらず、挙げられた件数の総和が大きいものほど、その保存樹への関心や関わりが深いことを示している。クロガネモチとクスノキの事例では共に住民の関心度が高いが、両者の総合評価は対照的である。興味深い結果だが、この違いが何によるものかはこれまでの調査だけでは説明が難しい。

保存樹に対する住民の評価は、保存樹そのものの形

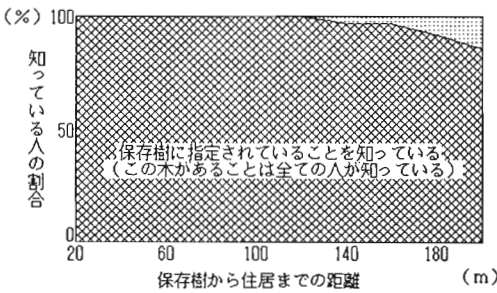


図-3 保存樹からの距離と関心(クスノキ)

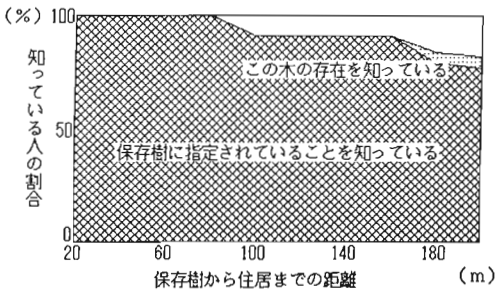


図-4 保存樹からの距離と関心(エノキ)

質や管理状態、健康状態だけでなく、所有者と近隣住民とのつきあいの深さやそのコミュニティの質などといった社会的要因にも左右されるものと思われる。その意味では、4つの調査事例を単純に比較することは危険であるが、共通の第三者グループによる非住民としての評価や、保存樹周辺環境のより詳細な調査などを重ねていくことにより、何等かの知見が得られるものと考えている。

7. おわりに

調査や取りまとめに際し、助言や協力をいただいた福岡市役所緑地課の真岡潔係長と上田裕貴氏、ならびに取材に応じて下さった保存樹管理者各位に謝意を表します。

なおこの調査の一部は、文部省科学研究費補助(一般C03660159)により実施したものである。

引用文献

- (1) 薛 孝夫ほか：日林九支研論，46，35～38，1993

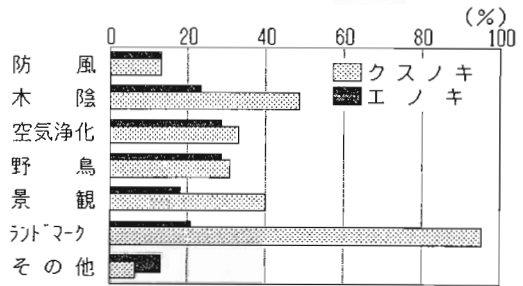


図-5 保存樹があつて良かったこと

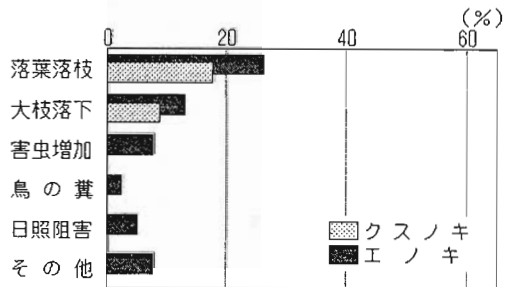


図-6 保存樹があつて困ったこと

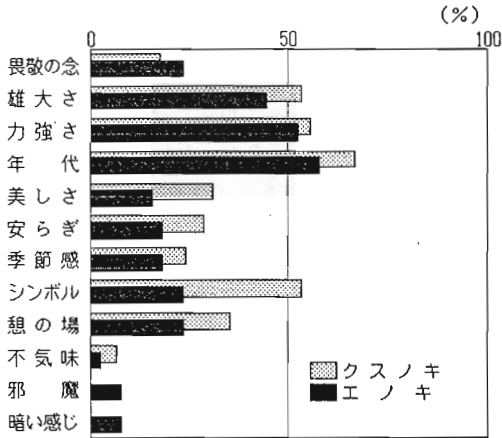


図-7 保存樹の印象

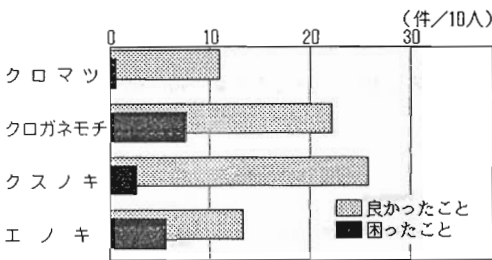


図-8 良かったこと、困ったことの件数

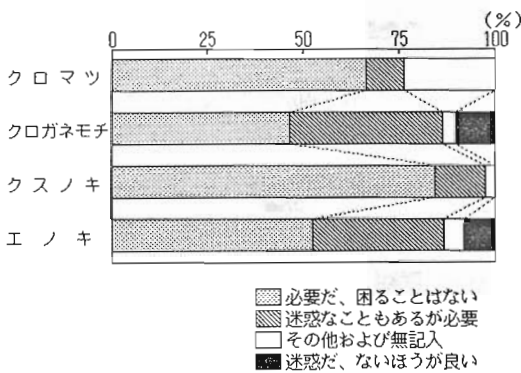


図-9 保存樹に対する総合評価

表-1 距離別、保存樹があって良かったことの件数 (クスノキ) (件/5人)

| 木からの距離 | 55 | 80 | 100 | 110 | 120 | 135 | 175 | 200 | 215m | 計 |
|--------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 防風 | 1 | 2 | 1 | 1 | - | 1 | - | - | - | 6 |
| 木蔭 | 2 | 3 | 4 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 22 |
| 空気浄化 | - | 2 | 4 | 3 | 2 | - | 1 | 1 | 2 | 15 |
| ランドマーク | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 | 5 | 5 | 4 | 43 |
| 野鳥 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 14 |
| 景観 | - | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 1 | 18 |
| 計 | 9 | 17 | 18 | 16 | 12 | 10 | 13 | 12 | 11 | 118 |

(エノキ)

| 木からの距離 | 45 | 60 | 80 | 100 | 115 | 145 | 180 | 190m | 計 |
|--------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| 防風 | 1 | 1 | - | - | 1 | 1 | 1 | - | 5 |
| 木蔭 | - | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | - | 9 |
| 空気浄化 | 2 | 1 | 1 | 1 | - | 2 | 3 | 1 | 11 |
| ランドマーク | - | 1 | 2 | 2 | 2 | - | 1 | - | 8 |
| 野鳥 | - | - | 4 | 2 | 2 | - | 2 | 1 | 11 |
| 景観 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 計 | 4 | 5 | 11 | 7 | 7 | 5 | 9 | 3 | 51 |

表-2 距離別保存樹のため困ったことの件数 (クスノキ) (件/5人)

| 木からの距離 | 55 | 80 | 100 | 110 | 120 | 135 | 175 | 200 | 215m | 計 |
|--------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| 落葉落枝 | 4 | 2 | - | 1 | 1 | - | - | - | - | 8 |
| 大枝落下 | 1 | 2 | - | 1 | - | - | - | - | - | 4 |
| 害虫増加 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 鳥の糞 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 日照障害 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 5 | 4 | - | 2 | 1 | - | - | - | - | 12 |

(エノキ)

| 木からの距離 | 45 | 60 | 80 | 100 | 115 | 145 | 180 | 190m | 計 |
|--------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| 落葉落枝 | 4 | 1 | 1 | 1 | - | 2 | 1 | - | 10 |
| 大枝落下 | 2 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | 5 |
| 害虫増加 | 2 | - | - | - | - | - | 1 | - | 3 |
| 鳥の糞 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| 日照障害 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | 2 |
| 計 | 11 | 2 | 2 | 2 | - | 2 | 2 | - | 21 |